

# かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和3年8月号

## それぞれの夏休み---



思い起こせば、昨年度は10日間の短い夏休み。

今年、例年通りとなった28日間の夏休みを、子どもたちはどのように過ごしたのでしょうか。写真は、1学期後半から夏休み中にかけて、6竹が大川地区の竹で作った筏を、2年生が自分たちで集めたペットボトルで作った筏を浮かべて楽しんだ様子です。コロナ禍ではありますが、子どもたちのこうした元気な姿が2学期も見られますようご支援願います。

この夏休み中にいくつかの出来事がありました。旧保育園跡地に建設予定の和児童館関係では、29日花岡市長様や下村建設検討委員長様等がご出席されて地鎮祭が行われ、翌日から桜の伐採作業が始まりました。桜の木がなくなって、空にぽっかりと穴が開いたような寂しい景色になりました。8月3日には、東御市中央公民館主催の長野高専出前講座が行われ、大勢の子どもたちが、モーターで動く車づくりに挑戦していました。夏休みのプール開放(3日間)は予定通り行いましたが、例年行っていた魚つかみ大会やソーメン流し、おもしろ発見サイエンスなどの行事は中止となりました。



夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が校舎に戻ってきました。夏休みが長かったためか、廊下に展示された一研究やポスター、新聞、工作などはどれも力作揃いです。一研究は、身近な自然や出来事、自分が思い浮かんだ疑問をテーマに、観察したり調べたりしてまとめてありました。普段の学校での学習が生かされていると感じるものがたくさんありました。さあ2学期。子どもたちがどんな成長をするか楽しみです。



## 子どもたちに負けないように…

～職員も学びを深めた夏休み～

8月18日(水)に保険会社の方を講師に招き、「コンプライアンス(法令遵守)」の徹底について職員研修を行いました。今回は個人の情報漏えいが組織全体に大きな損害を与えることになった実際の事例を具体的に教えていただきました。私たち学校職員も個人情報管理に関して配慮すべきことが多数あることを確認したり、守秘義務について認識を深めたりしました。また、夏休み前半は多くの職員が菅平の夏期大学の様々な講座をオンラインで受講し、知識を深めました。この他にも多くの職員が算数の教材づくり講習会に参加したり、不登校防止や楽しく学べる学級づくりに関する講演をオンラインで聴講したりし、2学期の授業や学級経営に生かせるよう研修をしました。



子どもたちはこの夏休み、学校では学べない多くのことを家族や親戚、地域の方等から学んだことでしょう。子どもたちは驚くほどのスピードで成長していきます。私たち職員も今に満足せず、常に自分に足りないものは何かを考え、学び続ける姿勢を大切にしていきたいと思います。子どもたちに置いて行かれないように頑張ります。

新型コロナウイルス感染警戒レベルが5に上がり、保護者の皆様には、家族に発熱やかぜの症状がある場合もお子さんの登校を控えていただいています。ご協力ありがとうございます。PCR検査を受ける場合や濃厚接触者となった場合の連絡等も含めまして、引き続き、感染拡大防止のため、ご協力をお願いいたします。

## 9月の予定

- 1日(水) 安全の日  
日体大との交流→中止
- 2日(木) 避難訓練②→延期
- 4日(土) 秋のPTA作業→中止  
上小PTA連合研究集会(オンライン)
- 6日(月) 4年長野市見学→延期
- 7日(火) 3年社会見学→延期
- 8日(水) 教育課程研究協議会のため休校日
- 9日(木) 児童会④
- 10日(金) クラブ活動②→中止
- 13日(月) 相談週間(～17日)
- 14日(火) 交通安全教室
- 15日(水) スクールカウンセラー来校
- 16日(木) 交通安全教室予備日
- 17日(金) 1年遠足 学校保健委員会  
ネットリテラシー教室(2,4年)
- 21日(火) 3年社会見学 1年遠足予備日
- 22日(水) 職員ICT研修
- 23日(木) 秋分の日  
東部中学芸発表会
- 24日(金) グループSST
- 25日(土) 巨峰の王国祭り
- 26日(日) //

\*\*\*\*\*

**新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定されていた様々な行事を中止や延期せざるを得ない状況になり、学習方法にも制約が出てきています。けれど、そんな中でも子どもたちは、笑顔で登校し、目を輝かせて授業や様々な活動に取り組んでいます。その姿に、私たち職員が勇気と元気をもらっています。2学期88日間、和小的子どもたちにたくさん活躍の場を与えてあげたい!そんな思いでいっぱいです。早く普通の学校生活ができるように戻ってほしいと願うばかりです。今学期も和の子どもたちの素敵な姿をたくさん紹介していきますので、ぜひお眺みください。(このおたよりは、本校ホームページでもご覧いただけます)**

文責・作成：校長 教頭

# できることを精一杯がんばっています！

## ～学校の中の新型コロナウイルス感染対策～

上田圏域の感染警戒レベルが5に上がりましたが、限られた広さの教室や校舎の中ではどうしても密になりやすいです。それに、仲のいい子どもたち同士ですから、複数で近づきすぎてしまう様子や大きな声で話をしてしまう様子も見られます。それを注意するのはとても心苦しいのですが、そこは心を鬼にして「もう少し離れよう。」「もう少し声を小さめに。」と声をかけています。各担任からデルタ株は子どもにも感染しやすいので精一杯予防に努めようという話をしました。また、子どもたちもテレビ等から若い世代や小さい子どもたちも感染のリスクが広がっているという情報を得ており、できる限り精一杯の感染対策をしています。



登校してきた全校児童には検温に加えて、手指消毒もしてもらうようにしました。手荷物をいっぱい持って登校した月曜日は、子どもたちも手の平を出すのが大変そうです。

各教室前に消毒液を置き、入室前には、もう1度、手指消毒をしています。家庭生活の中でお店に入る前などに消毒している子どもたちにとっては当たり前になっています。



体育館使用前と後、理科や音楽や図書館といった特別教室使用の前後も消毒を徹底しています。体育館使用は以前から1学年ずつなので、それほど密になることはありません。

行列ができやすかった給食コンテナ室ですが、2学年ずつ時間差で給食をとりに行くようにし、混雑を回避できるようにしました。間隔をとってならばもしっかりできています。



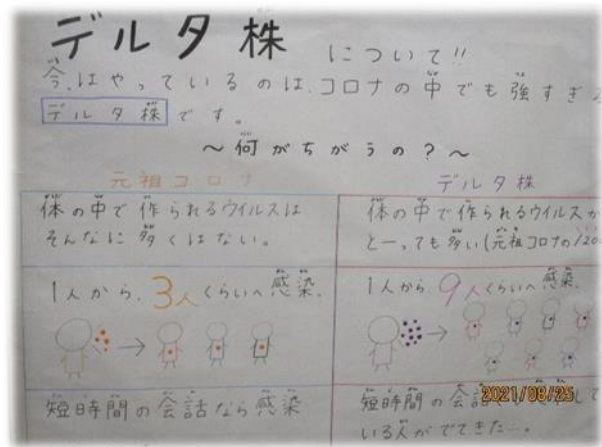
給食準備中は、担任や支援員と、少人数の当番の子どもたちだけで配膳をし、他の子どもたちは静かに自分の席で座って待っています。

どの教室からも給食中の私語は聞かれません。「会食の時間が一番危険」ということを子どもたちも理解し、1日の中で最も静かな時間です。



音楽の授業では、曲を流し、運指の確認だけをしています。「子どもたちから、先生、あってるかどうかわからない！」なんて声も聞かれています。

音楽の時間は、曲に合わせ、声は出さず、心の中で歌っています。みんなで声を出して歌える日、音を出して演奏できる日を心待ちにしています。



養護の先生が「デルタ株」の特徴をまとめて掲示しました。休み時間に友だちと立ち止まって興味深く読む様子が見られます。

高学年では、電子ホワイトボード機能を持つアプリケーションを使って友だちとの感想の共有をする試みを始めています。

